

## 働くことには"+α(プラスアルファ)"がある ～働く大人の姿を伝えよう～

例えば、子どもに「働くってどういうこと?何のために働くの?」と聞かれたら、あるいは若者に「今の仕事、楽しい?なんのための仕事?」と聞かれたら、あなたはなんと答えますか?

農業、林業、工業、研究、サービス業、事務、家事、デザイン、製造、金融、等々・・・世の中にはたくさんの職業や働き方があり、そのどれもが、社会の中で何らかの役割を持っています。

また、自分の働き方や仕事を通して、社会の仕組みや在り方を考えることもあるでしょう。人は、ある一面では、働くことを通して社会とのかわりを持っていると言えます。

「働くこと」や自分で選んだ「仕事」そのものから得られること、学ぶことは、お金だけではなく、人生においてなんらかの“プラスアルファ”になる可能性があります。例えば職業に必要な能力、技術など習得して自分を活かしていくことは自己実現につながります。また、人との出会いやそこから広がる人間関係は、人生を豊かにするでしょう。

「働く」ことと「生きていく」ことには大きく重なる部分があるのです。だからこそ、子どもや若者に、大人が働くことの意味や、魅力を姿や心で伝えたいものです。

逆に言えば、一人ひとりが魅力ある働き方をしているかということが問われます。それは、大人にとっても生き方や人生観に関係することで、厳しいことを突きつけられるようですが、自信を持って「働くことって、つらくてしんどいこともあるけれど、自分にとってはこんな意味がある」「自分は仕事を通して社会にこんな貢献をしている」と言うことができれば、子どもや若者が描く未来がもっと豊かなものになるのではないのでしょうか?

今回の特集では、地域で、子どもや青年たちに働くことの魅力を伝えているお二人を紹介します。⇒次ページの特集につづく!



商店街の喫茶店での商業体験(新宿区教育委員会「Summer Store-School」  
写真提供:新宿区教育委員会生涯学習振興課)

## 「働くこと」を考え、 伝えるための時代のキーワード&ヒント

※本文の脚注もご覧ください

### ●「若者・自立挑戦プラン」

2003年6月～/文部科学省・厚生労働省、経済産業省、内閣府  
平成18年度までに、若年者の働く意欲を喚起しつつ、全てのやる気のある若年者の職業的自立を促進し、もって若年失業者等の増加傾向を転換させることを目的として、文部科学大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、経済財政政策担当大臣が、『若者自立・挑戦プラン』を取りまとめた、教育・雇用・産業政策の連携を強化し、官民一体となった総合的な人材対策を強化するための施策。

2004年度予算526億円⇒2005年度予算810億円

「若者自立塾」開設(対象2400人、合宿で生活訓練、労働体験「ジョブパスポート制度」(ボランティア活動の記録を就職活動でアピールする)

「日本版デュアルシステム」の導入など。

### ●「若年者ジョブサポーター事業」厚生労働省

若年者ジョブサポーターをハローワークに配置する事業。高校生などの就職の手助け(情報提供、相談、就職準備講習、求人先開拓など)を個別就労支援として行う。

### ●若年者のためのワンストップサービスセンター (ジョブカフェ)事業(厚生労働省、経済産業省)

<東京しごとセンター>

千代田区飯田橋3-10-3東京しごとセンター3階

03-5211-2310

<http://www.tokyoshigoto.jp/shigoto/sctop/>  
都道府県が設置する若年者の就職支援施設。若者の就職情報、職場体験、相談の窓口など。ハローワークを併設しているところもある。

### ●ヤングハローワーク・しぶや・しごと館

～しぶやで 自分探し・しごと探し～

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-21-1

日本生命渋谷ビル5階

<ヤングハローワーク>

渋谷公共職業安定所の出先機関であり、概ね30歳未満の人々を対象に職業相談・紹介を行う。利用無料。

<http://www.younghw.jp/>

<しぶや・しごと館>

ヤングハローワークの対象者に加え、中学・高校の生徒や教師を対象とした職業意識啓発を目的としてサービスを行っており、職業についての情報を提供したり、ワークショップを開催している。

[http://www.ehdo.go.jp/tokyo/yjs\\_shibuya/top.htm](http://www.ehdo.go.jp/tokyo/yjs_shibuya/top.htm)

### ●(社)日本経団連2003年「若年者を中心とする雇用促進・人材育成に関する共同宣言」

2004年11月「若者自立・挑戦プランの強化の具体化に向けて」

- ・“今後の日本の産業を支える人材としての若年者”
- ・企業内人材育成の充実、強化、就業体験等の協力

※<sup>4</sup>「インターンシップ」:産業の現場などで生徒が在学中に自分の学習内容や進路などに関連した就業体験をすること。就職する前に実際に働くことで、仕事内容や企業を知り、職業意識を高める。

※<sup>5</sup>「デュアルシステム」:企業と学校が連携し、共同で人材育成を行う新しい職業教育システム。生徒の在学中に、企業における実習と教育機関における座学を並行的に実施し、企業や業界が必要とする実践的な技能・技術を身につけると同時に、将来の職業観や勤労観を育てる。東京都教育委員会では、都立高校改革の一つとして、従来のインターンシップよりも長期の就業訓練を行う「東京版デュアルシステム」として平成16年度から大田区にある都立六郷工科高校に設置している。